

2014べっぷ男女共同参画フォーラム（報告）

～ 2014.10.11 (土) ニューライフプラザでフォーラムを開催 ～

第1部 ミニコンサート フィジーとトンガの民族舞踊



立命館アジア太平洋大学のフィジー・トンガの皆さん。男性の力強い踊り、セレモニーの場での優雅な踊り等々を楽しみました。

フォーラムに参加しました！

■普段あまり接する機会がないので、エネルギーを感じた。
(30代・男性)

■祖国の伝統文化を楽しく誇らしげに踊っている姿がとても良かった。
(50代・女性)

■参加型になっていたところが、会場の一体感ができ楽しかったです。
(30代・男性)

■いろんな文化を知ることも、男女共同参画の一つである。
(40代・女性)

第2部講演「今日からできるモチベーションUPのヒント」 ～自分のモチベーションをコントロール～

講演要旨

◆モチベーションUPのヒント

一言葉の使い方に気をつける

思考や行動をいきなり変えることは難しいことです。それに比べて使う言葉を意識して変えることは比較的容易です。自分の言葉を一番聞いているのは自分。スポーツ選手などは、試合に勝った時でも負けた時でも最後は肯定的な言葉でインタビューを終えています。

一自分が直接コントロールできるものとできないものがあることを知る

選択理論心理学によれば、自分で直接コントロールできるものとして行為と思考、自分で直接コントロールできないものを感情と生理反応としています。目指すものに向かって進んでいく時、自分で直接コントロールできるものに焦点を当てていくことが自分のモチベーションをコントロールすることにつながります。

一目的意識を持って行動する

ものごとを進める際「目標」をもつことはとても大切なことです、何のためにという「目的」も意識した方が、困難なことにも意味づけが出来るしより大きな成果が期待できます。

一自分のモチベーションがどんな時に上がるか知り、それを生活に取り入れる

モチベーションを上げる行動、下げる行動は人によって様々です。自分の場合の一例は以下のとおり。

↑モチベーションを上げる行動

- 朝5時におきて軽くストレッチと筋トレをする
- お気に入りの服を着る
- 意識の高い人にあう（テレビ等で見る）等

↓モチベーションを下げる行動

- 食べ過ぎ、飲み過ぎ
- 朝起きるのが遅い
- 愚痴や文句の多い人と一緒にいる 等

フォーラムに参加しました！

■すばらしい内容で力を与えてもらった気がする。
(20代・男性)

■人の心はコントロールすることはできないが、自分の心をコントロールすることができるのを知れたのでよかったです。
(40代・女性)

■思ひあたることがたくさんありました。
(70代・女性)

湯のまち「べっぷ」

男〇女 共同参画

あすてっぷ

誰もが自分らしく輝くために～

男女共同参画センターあす・べっぷ
主催講座・創作作品



★きらい！輝く人々～つけた★

フリーアナウンサー 財前真由美さん

★デートDV

★2014べっぷ男女共同参画フォーラム（報告）



別府市宣伝部長
べっぷん
©Team Beppyon

強さと優しさが
たてよこ織りなす
男女共同参画

おとうさん
オレは、オレは
もう古い

夫唱婦隨
婦唱夫隨
男女共同参画

べっぷ男女共同参画協議会・男女共同参画「かるた」より抜粋

あすてっぷの愛称…「あす」は明日と英語で私たちを表す us を意味し、「ステップ」は英語で足取りや歩調、そして段階を表す s t e p 、また、「ぶ」は別府の「府」です。私たちの明日の未来の男女共同参画のまち別府を性別にとらわれず、自分らしく自分の足取りで生きていこうという気持ちを込めています。

発行：別府市自治振興課 〒874-8511 別府市上野口町1番15号 編集：あすてっぷ市民編集委員

TEL 0977-21-1141 FAX 0977-21-6399 Eメール aup-pf@city.beppu.oita.jp

男女共同参画の推進について、ご意見・ご質問をお寄せください。



★きらり！輝く人々～つけ応★

仕事と家事・育児の両立をこなし
今、きらきら輝いている人

フリーアナウンサー
財前真由美さん

profile

別府市の中・高・高等学校、県外の短大を卒業後、TOSに入社。結婚を機にフリーアナウンサーへ。現在大分ケーブルテレビ「夢スター」、OBS「旬感3チャンネル」、その他各種イベント式典の司会で活躍。2児の子育てにも奮闘中。

司会という仕事に就かれた動機・苦労・喜び・健康管理などについて教えて下さい。

～仕事では「たくさんの人との出会い」が喜びに～

司会を選んだわけは？

- ・県内での就職を希望
- ・人と話すのが大好き

健康管理は？

- ・早寝、早起き、朝ごはん
- ・冷たいものは極力飲まない
- ・首すじはストール
- ・寝る時首にタオル

仕事上日頃から気をつけることは？

- ・言葉使いを意識し、アクセント辞典を常に携帯しチェック。
- ・毎回取材のVTRを見ては、「適切で正しい言葉使いが出来たか」「出演者の良いところを引き出せたか」をチェック。
- ・番組の出演者が主人公、その方の話に真剣に耳を傾ける。

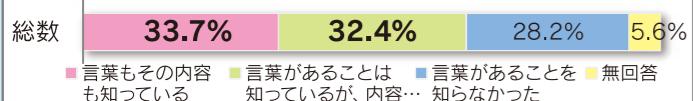
仕事の喜びは？

- ・たくさんの人に会える。
- ・出演した人に喜んでもらえる。
- ・「見てるよ」「地域の魅力がわかつたわ」等番組の感想をもらう。

◆デートDVとは？

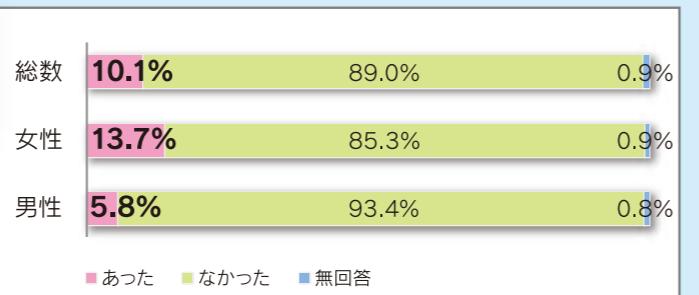
交際相手から振るわれる暴力のことを「デートDV」といいます。最近では中高生などの学生や、若い世代の恋人間でもDVがおこっています。

◆交際相手からの暴力（デートDV）の認知度



交際相手からの暴力（いわゆるデートDV）について知っているか聞いたところ、「言葉も、その内容も知っている」が33.7%、「言葉があることは知っているが、内容はよく知らない」が32.4%で、これらを合わせると6割を超えています。

◆10歳代から20歳代の頃の交際相手からの被害



当時の交際相手から「身体的暴行・心理的攻撃・性的強要」の3つの行為をあげ、被害を受けたことが「あつた」と回答した人は全体で10.1%（約10人に1人）、女性は13.7%（約7人に1人）、男性は5.8%（約17人に1人）となっています。

「男女間における暴力に関する調査票」（内閣府・平成23年度調査）より

働く女性として、家庭で工夫・努力していることはどんなことですか？

～家庭では「ありがとう」の言葉を忘れずに～

時短をめざして

- ・帰宅してから夕食までの時間、スピード感を持って使う。
- ・ちょっと先を見据えて、数日間のメニューを立てる。
- ・バランスを考え、料理にひと手間かける。
- ・仕事の時間を夫婦で常に連絡し合い調整する。
- ・「このゴミ捨てとこうか」の夫の言葉にありがとう。子どもたちが手伝ってくれることにありがとう。
- ・ほんのちょっとしたことにも「ありがとう」を忘れない。
- ・子どもたちとは毎日ハグし、「大好きだよ、可愛いね」の声かけを忘れない。

体調管理は

- ・仕事が休みの日は、1人で温泉に入り、ぐっすり寝ること。
- ・早寝、早起き、朝ごはん

家族

- ・子どもの心に寄り添つてほしい。
- ・家庭では子どもの心に寄り添つてほしい。
- ・今の仕事は大好きなので続けていきたい。働きながら、家事・育児をしてきた母が目標。
- ・家庭では子どもの心に寄り添つてほしい。

今後の抱負は

- ・今後は大好きなので続けていきたい。働きながら、家事・育児をしてきた母が目標。
- ・家庭では子どもの心に寄り添つてほしい。

【取材を終えて】



取材中、常に素敵な笑顔で答えてくれた財前さん。大きな瞳は、きらきら輝いていた。数年前までは何事も完璧にしなくてはと思ってはイライラし、カリカリしていた。そんな時娘さんが「ママ、そんなに頑張らなくていいよ。」の一言にはっとし、気楽に子どもに任せ、「ママきついから横になるね。」が言えるようになった。家族に弱いところを見せて、完璧でなくていいと思うようになったら怒らなくなつた。「夫と子ども、周りの家族や友達の協力があるから、今の自分がある。」と財前さんは、最後に強く言い切つた。

別府市男女共同参画センター



あす・べっぷ

からのお知らせ
あす・べっぷでは、「相談・学習・交流・情報」の4つの機能を柱に、市民の皆さんに向けた事業を展開しています。

相談…女性が抱える

悩みを、女性相談員が電話や面接でお伺いします。

★相談窓口電話番号★

TEL 0977-21-7820

情報…男女共同参画に

関する図書や雑誌をおいています。また、インターネットによる検索が行えるパソコンを設置しています。

学習…様々なテーマ

で市民向けの講座を行っています。受講中お子さんをお預かりする「託児サービス」も行っています。

交流…団体や個人が

お互いの情報を交換しながら、ネットワークを構築して活動の幅を広げていける場を提供します。



別府市男女共同参画センター「あす・べっぷ」

住所：別府市大字別府字野口原3030番地の1

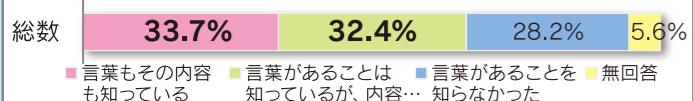
電話：0977-21-8289

※講座のお申込・お問い合わせは
自治振興課男女共同参画推進室 0977-21-1141へ
<http://www.city.beppu.oita.jp/asubeppe/>

●デートDVとは？

交際相手から振るわれる暴力のことを「デートDV」といいます。最近では中高生などの学生や、若い世代の恋人間でもDVがおこっています。

◆交際相手からの暴力（デートDV）の認知度



交際相手からの暴力（いわゆるデートDV）について知っているか聞いたところ、「言葉も、その内容も知っている」が33.7%、「言葉があることは知っているが、内容はよく知らない」が32.4%で、これらを合わせると6割を超えていました。

●よりよい関係をつくるために

「暴力を認めない」

どのような事情があつても、暴力は決して許されるものではありません。

「自分のことを大切にする」

あなたはこの世でたったひとりの大切な人です。まずは自分の気持ち、それから自分の体を大切にする気持ちを持ちましょう。

「相手のことも大切にする」

自分のことを大切にするのと同じように、相手を思いやり、大切にする心を持つことも大事です。自分と異なる考え方を持っていたとしても、まずはお互いに違いがあることを認めましょう。

●相談室からのメッセージ

あなたが悩んでいたら…

1人で悩まず、まずはだれかに相談してみましょう。解決方法がみつかなくとも誰かに話することで気持ちが楽になることもあります。または専門の相談機関に相談しましょう。（相談は無料で秘密は守られます）

友だちが悩んでいたら…

友だちに声をかけてみてください。友だちが話せそうだったら、話をよく聞いてみてください。相談できる場所がいろいろあることも友だちに教えてあけてください。

別府市女性相談窓口

あす・べっぷ 0977-21-7820 (火～金 9:30-16:00)
別府市役所内 0977-21-1141 (月～金 8:30-17:00)